

関係文献や重要著書の評論ものせる。

第1号は、1959年4月～6月の期間中に発行の予定で、価格は7マルク（送料別）\*。投稿、および内容についての質疑は、刊行委員長または編集局宛に送ること。刊行委員会は16名で構成し、日本からの委員には山田幸男教授が指名されている。刊行委員長にはスウェーデンからの委員である LEVRING 氏が当る。その宛名は次の通り。

Prof. Dr. TORE LEVRING  
University of Gothenburg Marine Botanical Institutions  
Botaniska Trädgården Gothenburg C, Sweden

編集局の宛名は次の通り。

Studiengesellschaft zur Erforschung von Meeresalgen e. V.  
Hamburg 36, Esplanade 1 c, P. O. B. 393 West Germany

印刷と発売は次の書店が引き受ける。

Cram de Grayter & C., Hamburg 1, Messberghof West Germany

(時 田 郞)

### 新 著 紹 介

近 江 彦 栄 著

### 日本及び近海産オゴノリ属及び オゴモドキ属の種類

The species of *Gracilaria* and *Gracilariopsis* from  
Japan and adjacent waters (Mem. Fac. Fisheries, Hokkaido  
Univ. Vol. 6, No. 1, pp. 1-65, pls. 1-10. 1958)

従来寒天原藻又は混藻として利用され、産業的価値の高いオゴノリ及びオゴモドキ属の18種1品種について、それらの種の性質が明かにされ、又過去における利用情况等が誌されている。

この論文において著しいことはホソオゴモドキ、トキダフシクレノリがそれぞれ日本及び琉球から始めて報告されたことであり、オゴノリ属の一員とされていたツルシラモがオゴモドキ属に移された事等である。更にこの基礎的な研究は大いに産業面においてもその価値を発揮するものと思われる。

次に著者の検索表を掲げるが *G.* は *Gracilaria* オゴノリ属を、*G.-opsis* は *Gracilariopsis* オゴモドキ属を、( ) 内はシノニムを示す。

\* この価格は1冊の値段と思われる。邦貨600円余に当る。

I. 嚢果は大形細胞，通常小形の基部を有するゴニモブラスト，及び果皮に達する營養糸よりなる。

A. 体は円柱状，あるいは時に多少扁圧

1. 枝は基部において縊る

a. 枝の基部は多少縊る；分岐は多く又は少し；体は細し

..... 1. *G. verrucosa* オゴノリ (*G. confervoides*)

b. 枝の基部は徐々に縊る；分岐はむしろ少く，不規則又多方面に出ず；体の下部及び中部では非常に硬し；先端尖る ..... 2. *G. gigas* オホオゴノリ

c. 枝の基部は急に縊る；分岐多く，互生又は部分的に扁生；体は硬く，ふくれる ..... 3. *G. blodgettii* クビレオゴノリ

2. 枝は基部において強く縊る

a. 質むしろ硬し；分岐は羽状；やや繖房状；体は 30 cm に達す

..... 4. *G. edulis* カタオゴノリ (*G. lichenoides*)

b. 軟骨質又は膜質；分岐はやや叉状，短き小枝あり；やや波状

..... 5. *G. bursa-pastoris* シラモ (*G. compressa*)

c. 肉質；繖房状；体は 11 cm より小

..... 6. *G. coronopifolia* モサオゴノリ (*G. filiformis*)

d. 膜質及び肉質；分岐は密，不規則な羽状，時に上部において弓状をなす；波状或は繖房状；体は 5~10 cm 高し ..... 7. *G. arcuata* ユミガタオゴノリ

3. 枝或は小枝は関節せる如く縊る

a. 小枝は成熟時関節せる如く縊る ..... 8. *G. crassa* タイワンオゴノリ

b. 枝及び小枝は共に著しく関節せる如く縊る

..... 9. *G. salicornia* トキダフシクレノリ

B. 体は全く扁平又は葉状

1. 体の縁辺に多くの刺状突起或は小歯あり 

a. 体は幅広し；縁辺に小歯あり ..... 10. *G. denticulata* トゲカバノリ

b. 体はむしろ幅狭く，先端鈍円或は舌状；縁辺著しく波状

..... 11. *G. purpurascens* ムラサキカバノリ

c. 体は前者より広く，先端鈍円或は截形；縁辺刺状突起多し

..... 11a. *G. purp. f. spinulosa* トゲイツツギヌ

2. 体は全縁又は刺状ならざる突起あり

a. 体扁平，1~2.5 cm 広く，全縁，体表に点状の斑あり

..... 12. *G. punctata* イツツギヌ

b. 体扁平，通常全縁なるも表面に斑なし，時に溝状或は多少内に曲りしばしば燃れたり ..... 13. *G. incurvata* ミゾオゴノリ

c. 体は幅広く，しばしば裂片をなし，曲らず，先端鈍円又は舌状，分岐行われ

- 又行われず ..... 14. *G. textorii* カバノリ
- d. 体は幅最も広く、時に裂片を生ず；全縁にして通常分岐せず  
 ..... 15. *G. sublittoralis* シンカイカバノリ
- II. 嚢果は小細胞、大なる基部を有するゴニモブラストよりなり、果皮に達する營養糸なし
- A. 枝は時に膨れ蠕虫状をなす ..... 16. *G.-opsis vermiculophylla* オゴモドキ
- B. 枝は全く膨れず
1. 体小形にして細く、20 cm を超ゆ、稀に経 1 mm を超え、分岐多し  
 ..... 17. *G.-opsis rhodotricha* ホソオゴモドキ
2. 体大形、硬し、60~110 cm 高く、2~3 mm 広し、分岐粗なり  
 ..... 18. *G.-opsis chorda* (*G. chorda*) ツルシラモ  
 (北大理学部植物学教室 阪井与志雄)

## 学 会 録 事

### 会 員 移 動

(昭和33年11月16日より昭和34年3月末まで)

本会会員金子政之助氏は去る昭和34年1月5日逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

日本藻類学会